

# 奈良大学 文学部史学科 学科別小論文合格へのアドバイス

## ■ 出題の意図

奈良大学史学科では、古代以来、歴史や文化の舞台となった奈良・大和の地に蓄積された豊富な素材を世界史的観点から探求することを学習の目的としています。その目的をふまえ、史学科がもともとめているのは、なにより**歴史に対する豊かな感性と旺盛な好奇心**です。

学科別小論文では、とくにこの点について、基礎的な知識を問うとともに、それらを総合して、**みずからの考えを論理的に文章にできる力**をみることをねらいとしています。

文字数は400字から800字とかぎられた範囲ではありますが、そのかぎられた範囲のなかで、知識が単なる知識に終わらず、それについてどのような問題を感じ、また意義を見出したのかを問います。

裏面の例題は過去に史学科で出題されたもののひとつです。

なお、ここでは「女性」の例として皇極天皇を扱っていますが、**教科書に載らないような女性を取り上げることも可能**です。たとえば自分の祖母などでも、**日本史や地域の歴史とのかかわりをしっかりふまえて「歴史的」**に書いていれば、問題はありません。

## ■ 合格へのアドバイス

例題で問うているのは、出題の意図でも述べましたように、基礎的な知識だけではなく、それらを総合して、**みずからの考えを論理的に文章にできる能力**です。解答例では、皇極天皇を素材にして文章をつづっていますが、これをみれば、教科書や用語集などに書かれた断片的な語句をつなぎ合わせるだけでは解答できないことが読みとれるでしょう。

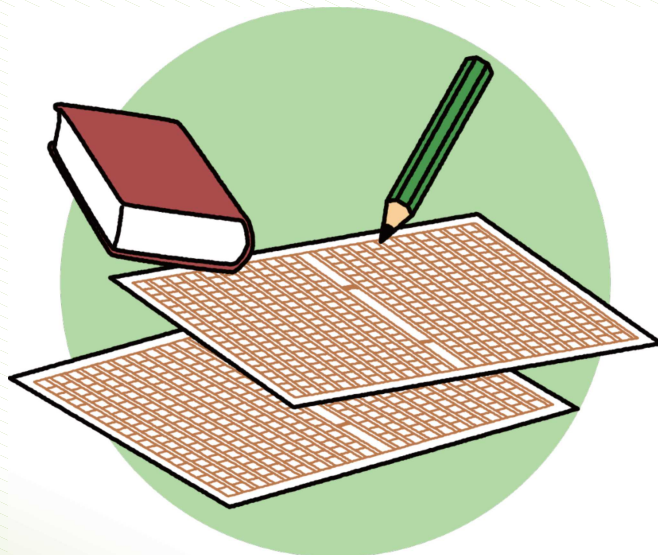
しかし、**心配することは何もありません**。他の教科はともかく、歴史だけはなにより大

好きだというみなさんにとっては、その対策も楽しみながらできるものと思います。

そのためには、日頃から歴史に関するさまざまな情報(新聞、テレビ、インターネットなど)に耳を傾け、**教科書だけではなく、多様な読書**もこころがけるようにしましょう。

それはそのまま大学での学習にもつながり、大学進学後にもきっと役に立つことでしょう。具体的なアドバイスとしては、高校の図書館や地域の図書館へ行って、**新書**とよばれる版型の書籍を日頃から読んでおくことがおすすめです。最近では、数多くの出版社から、またさまざまな分野の新書が刊行されていますが、そのなかから歴史にかかわるものを選んで、**楽しみながら読みすすめていく**とよいでしょう。

また、史学科の小論文の問題を自分自身で考えて、小論文を書く練習というのも役に立つと思います。これまでの出題例をみてもわかるように、史学科の場合、教科書や参考書などに書かれてあるような、ありきたりの出題のしかたをしていないところに特徴があります。そうであるだけに、むしろ**自分が出題者になったつもりで問題を考えて、解答していくと大いに効果があがる**ことでしょう。



## 例題【2011年度 過去問】 テーマは「女性」

世界史や日本史、あるいは地域の歴史の上で重要と思う女性を一人選び、その女性について簡単に紹介するとともに、その女性が生きた時代や社会について自分の意見や考えを述べよ。

### 【解答例】

人名：皇極天皇

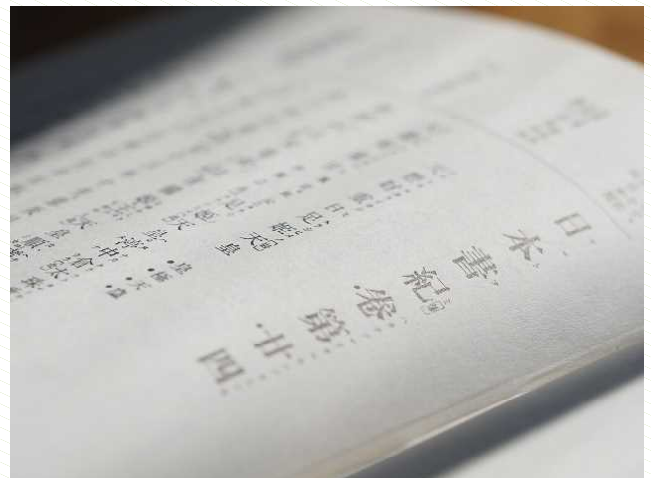
題名：乙巳の変と皇極天皇の陰謀

645年、乙巳の変で蘇我入鹿が暗殺され、入鹿の父である蝦夷も自殺した。これにより皇極天皇は退位し、弟の孝徳天皇が即位し、蘇我家などの豪族中心の政治から、天皇中心の政治にかわった。皇極天皇は、その後再び天皇となり、名前を斉明天皇にかえた。

乙巳の変が起きたきっかけは、蘇我入鹿が聖徳太子の子である山背大兄王を自殺に追いこんだことである。皇極天皇の子である中大兄皇子は、蘇我氏が天皇の権威を奪おうとしていることを理由に蘇我氏を滅ぼした。しかし、これは皇極天皇の策略ではないかと考える。

なぜなら、山背大兄王を自殺に追いこんだのは蘇我氏だけでなく、皇極天皇の弟である孝徳天皇も関わっているからだ。かつて皇極天皇の夫と山背大兄王は天皇の座をめぐる争っていた。そしてその夫が死に、山背大兄王が次の天皇の座を狙っていると思った皇極天皇は、蘇我氏や孝徳天皇らを山背大兄王討伐に向かわせた。つまり、山背大兄王の自殺は、女帝であった皇極天皇の策略ではないのか。そして皇極天皇は、これ以上蘇我氏が権力を持たないように中大兄皇子に入鹿暗殺を命じたのではないのか。山背大兄王の討伐は、蘇我氏に集まった権力を天皇のもとに戻すためのきっかけに過ぎないのではないのか。乙巳の変については『日本書紀』に書かれているが、その書物は乙巳の変から75年後の720年に完成され、さらに編集には中臣鎌足の子である藤原不比等も関わっている。『日本書紀』は、歴史の勝者の一方的な主張に過ぎない。

これらのことから、私たちが思っている以上に、皇極天皇は山背大兄王の自殺、乙巳の変と関係が深いのかもしれない。そして、『日本書紀』には皇極天皇のマイナスイメージになるようなことは書かれていない。この時代、皇極天皇の存在はおおきなものだったのではないかと考える。



史学科の学科別小論文の過去問は奈良大学入試情報サイトで公開しています。

<https://www.nara-u.ac.jp/admission/about/>

左のQRコードでも閲覧することができます。